

年 組 名前：



南都留森林組合が昨年実施した間伐体験 一都留市上谷

# 横浜の小学生に 木製品作りの場

## 南都留森林組合 来月からプログラム

南都留森林組合（都留市法能）は6月から、横浜市の小学校を対象にした体験型の木製品活用プログラムを実施する。組合管内（都留市、道志村、西桂町、上野原市、秋山地区）を流れる桂川と道志川が横浜市の水源となっていることから企画。来年2月まで間伐からデザイン、加工、製品化までの体験を行い、水源林の重要性を知ってもらおう。  
〈赤池悠〉

## 水源林 重要性PR

組合は毎年、市の児童を招いて間伐体験を実施しているが、製品化までの一連の活動体験を行うのは初めて。対象は、3年前から組合と連携して、間伐体験を行っている横浜・箕輪小の5年生。主体性を持って木に関わってほしいという狙いから、プログラムでは作製する木製品のデザインを児童に考えてもらう。組合が用意するレーザーカッターを使い、児童が実際に加工を経験する機会も設ける。

プログラムは「総合的な学習の時間」を活用して実施する。児童はどんな木製品を作るか話し合った上で、6月14日に都留市を訪れ、市上谷の山林で間伐と切った材木の搬出を行う予定。切った材木は7、10月の間に西桂町の製材所で組合が製材。11月以降に児童がデザインと仕上げ加工をして、来年2月の完成を目指す。

(2023年5月30日付 山梨日日新聞 16面)

問1 南都留森林組合は、誰を対象に、どのようなプログラムを行いますか。

・対象者： .....

・プログラム： .....

問2 プログラムを企画した理由と、目的を教えてください。

・理由： .....

・目的： .....

問3 今後、プログラムで行う予定を教えてください。

・6月14日： .....

・7～10月： .....

・11月以降： .....

・来年2月： .....